

## 銀座街づくり会議

<http://www.ginza-machidukuri.jp>

〒104-0061 中央区 銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: [info@ginza-machidukuri.jp](mailto:info@ginza-machidukuri.jp)

\*メール配信をご希望の方はお知らせください\*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています\*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます\*

東京都は、今年4月、「都心と臨海副都心とを結ぶBRTに関する基本計画」をまとめました。それを受け、5月26日、銀座キレイが丘にて、これまでの銀座モビリティデザイン勉強会の成果を発表し、東京都や中央区の

お考えをお聞きするためのシンポジウム「銀座ににぎわいを運ぶ交通を」を開催し、約170名の聴衆の方々に集まりいただきました。

銀座街づくり会議シンポジウム

## 銀座モビリティデザイン2

# 銀座ににぎわいを運ぶ交通を

東京都の「都心と臨海副都心とを結ぶBRTに関する基本計画」には、幹線ルートとして、環状2号線を中心としたものに加え、銀座を通して東京駅につながるルート運行も記載されています。

予定としては、2019年度に連節バスと単車型燃料電池バスによる運行、2020年度に連節型燃料電池バスを可能な範囲で運行し、オリンピック以降、全車両の燃料電池バス導入、連節燃料電池バスの本格導入をめざす、というものです。

銀座ではこれまでもお知らせしているとおり、2013年より、銀座のモビリティデザイン将来像を描くための勉強会を行ってきました。そして2014年に考え方をまとめて発表し、さらに、今年1月には東京都に対して要望書も提出しています。

銀座の勉強会の講師をお願いし、今回のシンポジウムでご講演をお願いした中村文彦先生（横浜国立大学理事・副学長）は、東京都「都心と臨海副都心とを結ぶBRT協議会」の座長でもあられます。中村先生からは、銀座の現状認識と最新の海外事例のご紹介があり、銀座がこれから考えていくべきこととして、駅の位置と空間の確保について、至急、東京都に対して提案をしていくことが大切と述べられました。その提案は、銀座まちづくりの歴史と理念に矛盾しないこと、歩行者空間・動線と連携していること、既存路線バスとの役割分担ができていくことが重要です。

さらに、具体的な交通社会実験を企画実施しながら銀座がまとめたモビリティデザイン案をひとつずつ実現してゆくことが大切と強調されました。社会実験はたとえば、荷捌き車両と客待ちタクシーの、時間帯と位置を規定した駐停車禁止実験や、時間と区間を決めた自転車走行規制や歩行者専用空間の実施、地区内を

回遊できる小型乗り物を走らせる実験などが考えられます。

中央区吉田副区長からは、築地市場移転と環状2号線開通のタイムラグがあることから、オリンピック前に晴海通りの深刻な渋滞が予測されること、現在晴海地区に駐車している観光バスの駐車場所、銀座だけでなく中央区ならびに周辺地域全体の将来の交通政策を考え、都にも働きかけていきたいので、協力をお願いしたいと話がありました。

交通問題は、2020年オリンピック開催のみならずその後の銀座まちづくりに、もっとも大きな影響を及ぼす問題のひとつです。

銀座街づくり会議では、中央区と協力しながら、東京都への提言と交通実験提案を行っていくことにしています。

### 【シンポジウムの資料について】

- \*DVD 貸出しております。
- \*配布資料 資料は印刷代実費にてお分けしております。
- \*議事録 ただいま作成中です。  
できましたらHPにてお知らせいたします。

【問合せ先】銀座街づくり会議（担当：黒田）

Tel : 03-3567-1535

E-mail : [info@ginza-machidukuri.jp](mailto:info@ginza-machidukuri.jp)

- \*これまでの勉強会の資料、中央区の資料等ご覧になりたい方は、銀座街づくり会議までお問い合わせください。東京都に提出した要望書は、ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.ginza-machidukuri.jp>